

『絵本太閤記』の世界 —江戸時代に活きた秀吉—

竹内 洪介

就実大学人文科学部講師

19世紀のはじめ、大坂で『絵本太閤記』という豊臣秀吉の伝記が発売されました。非常な評判を博したこの本は、ただちに浄瑠璃・歌舞伎化され、挿絵にヒントを得た錦絵や派生作も続々発売されました。今、私たちが見ている秀吉のイメージは多くここに依拠しています。時の幕府はこれを見て絶版の処置を下しますが、大坂の商人たちは粘り強く本書の再版を願い続けました。ようやく嘆願にこぎつけたのはなんと幕末のことでした。では、いかなる理由で幕府はこれを許可したのでしょうか。江戸時代に生きた「秀吉像」に迫ります。

2026

8/9[日] 13:30
→15:00

会場
けんぱくホール

定員
120人 要予約・先着順

申し込み
ホームページから
7/9 AM8:30 受付開始

連絡先(岐阜県博物館)
岐阜県関市小屋名1989
☎0575-28-3111
<https://www.gifu-kenpaku.jp/>

開催中
会期7/11-8/23



△入館券が必要です



お申し込みは
こちらから

